

「小さな自治体が連携して取り組む部活動 地域展開について」

長野県南佐久郡



令和7年9月6日

埼玉県熊谷市

南佐久郡について

長野県の東側
群馬県・埼玉県
山梨県に接する地域



白樺高原

高原野菜



南佐久郡について

佐久穂町



佐久穂中



大日向中

小海町



小海中

北相木村

南相木村

南牧村



南牧中



川上中

川上村

6 町村

- ・ 佐久穂町
- ・ 小海町
- ・ 北相木村
- ・ 南相木村
- ・ 南牧村
- ・ 川上村

4 中学校

- ・ 佐久穂中学校
- ・ 小海中学校
- ・ 南牧中学校
- ・ 川上中学校

私立中学校

- ・ 大日向中学校

南佐久郡について

概要

【長野県南佐久郡の概要(6町村)】

令和7年4月1日現在

・人口22,177人 ・小さな中学校が4校 全体で

493名

	人口	進学先中学校	生徒数	小学校	スポーツ少年団
佐久穂町	9,595	佐久穂中学校	248	佐久穂小学校	8
小海町	4,039	小海中学校	103	小海小学校	1
南相木村	880			南相木小学校	0
北相木村	657			北相木小学校	0
南牧村	3,111	南牧中学校	66	南牧南小・南牧北小	1
川上村	3,895	川上中学校	76	川上第一小・川上第二小	1
計	22,177	4 中学校	493	8 小学校	11

スポーツ少年団は少ない

スポーツクラブもない

総合型地域スポーツクラブもない



- ★ 南佐久郡町村教育長会
- ★ 南佐久郡町村教育委員会連絡協議会
- ★ 南佐久郡教育支援委員会
- ★ 地域高校「小海高校」を守り生徒を支援する会
- ★ 小中学校長・教育委員会合同研修会
 - 令和2年度発表テーマ
 - ・ 南牧中学校の課題と取組（部活動再編について）
 - 令和5年度発表テーマ
 - ・ 南佐久の部活動地域移行について

南佐久郡には、
連携して取り組む
実績がある

現状把握と課題の共有

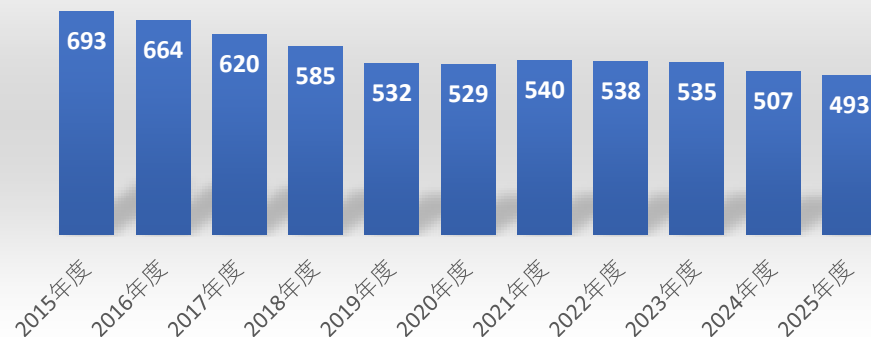
現状：生徒数の**減少**



部活動運営の**厳しさ**

教育委員会の動き

南佐久郡中学生数の推移



★ 令和2年7月17日 郡教育委員及び校長会合同研修会

- ・ 南佐久郡の校長会からの報告
- ・ 内容 4 中学校の生徒数の推移と部活動の削減の見通しによる
拠点校方式による部活動への提言

衝撃を与えた、数人でのバレーボールの練習の映像
教育委員一同で、危機感を共有し
子どもたちのために何とかしよう



★ 南佐久郡中学校校長会と教育長会で、検討を重ねる

学校での動き

<佐久穂中学校の例>

- ①令和2年11月19日付 佐久穂中学校スポーツ文化芸術部活動運営
委員会の保護者宛て文書

内容 生徒数の減少に伴い、**チームとしての活動が困難になる
部活動の統廃合の検討**

- ②令和3年 1月20日付 佐久穂中学校長より保護者宛て文書

内容 部活動運営委員会を受けた今後の見通し
部活動の休部及び廃部の原則ルールの明示

人数不足が原因で2年連続して大会に出場できない場合は募集しない。

<南牧中学校の例>

- ①令和3年2月18日付 PTA会長より南牧村教育長への要望書の提出

内容 **町村をこえた拠点校方式による部活動の運営**

学校単位の部活動に変わりうる生徒のスポーツ活動の機会の確保

**なぜ、そのスポーツをやりたい子どもができないのか
都市部と違って、クラブチーム等の選択ができない
子どもの夢を摘み取っていないのか**

拠点校方式合同部活動と地域クラブ移行の推進

国の動き

★ 地域と協働・融合した部活動のあり方についての方針

☆ 南佐久においての課題が明らかになったタイミングで

令和2年9月1日 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」が示される

- ・部活動・・・教育課程外の学校教育活動、学校教育の一環（指導要領総則）
- ・地域クラブ活動・・・学校教育の一環でなく、学校と連携して行う地域での活動
- ・指導者・・・教員から地域の指導者へと変わる
- ・メンバー・・・同じ学校の生徒から、地域の同年代の生徒となる場合もあり、学校の枠にとらわれない活動
- ・活動に係る費用・・・用具代などの費用等（今までの部費）＋指導者報酬

拠点校方式合同部活動と地域クラブ移行の推進

教育長会の動き

★ 地域と協働・融合した部活動のあり方についての方針

令和2年9月1日 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」の明示

- ・ 部活動を地域に移行する
- ・ 休日の部活動の段階的な地域移行
- ・ 令和7年度末を目途に移行

★ 令和3年5月27日 南佐久郡町村教育長会合同研修会

- ・ 中学校の部活動の地域クラブ移行についての理解を深める

拠点校方式合同部活動と地域クラブ展開の推進

教育長会・校長会の動き

★ 令和3年8月31日 南佐久郡町村**教育長会**

- ・ 南佐久の方向性（単独 or 複数）
- ・ 拠点化方式合同部活動と地域クラブ展開の同時進行
- ・ そのための運営方法や財源（町村運営型？）

★ 令和3年10月21日 郡町村**教育長・職務代理・校長会合同**研修

- ・ 拠点校方式合同部活の理解
- ・ 地域クラブ展開への可能性

課題・・・① 合同部活に対しての県中体連の見解が明確でなく
南佐久チームとして出場できるのか？
② **合同部活の運営母体や運営費用は？**
③ **地域クラブ移行との同時進行は？**
(合同部活動を地域クラブ活動として推進する)

拠点校方式合同部活動と地域クラブ展開の推進

具体的な動き

★ 目指す方向性の確認

- ・生徒がやりたいスポーツができる環境づくりをする。

拠点校方式の合同部活と休日の部活動の 段階的な地域展開を同時に行うために

○R4 地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業に申請
(休日の部活動の段階的な地域展開に関する実践研究)

- ・南牧中学校が申請
- ・南牧村教委指導主事(村費)がコーディネーター

2つの課題が解決・・・運営費用の捻出と運営母体の検討
地域移行との同時進行の推進

○南佐久郡中学生部活動運営委員会(仮称)の立ち上げを計画
(6町村教育長と事務局、4中校長)

休日の部活動の段階的な地域移行

と同時に

南佐久の中学生が
「やりたいスポーツ」
に参加できる環境づくり

を

南佐久全体で

推進して



子どもたちが主役の
子どもたち自身のための
持続可能なスポーツ活動

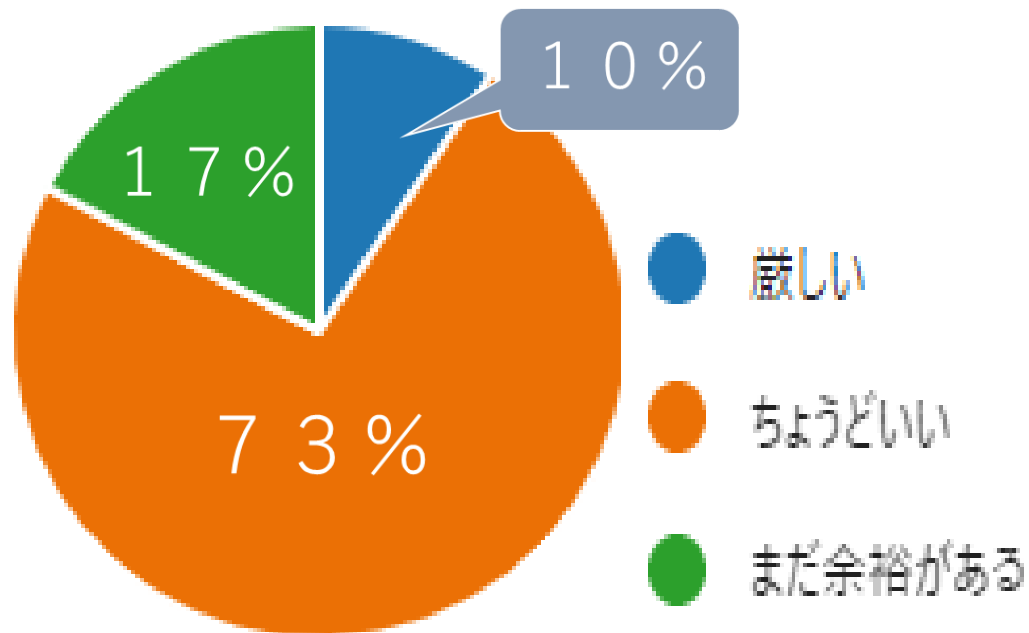
を実現する

子どもたちがどのような
スポーツ・文化活動の環境を望んでいるか

部活動に係るアンケート実施（令和4年7月）

中学生

質問 「部活動の活動時間はどうですか」

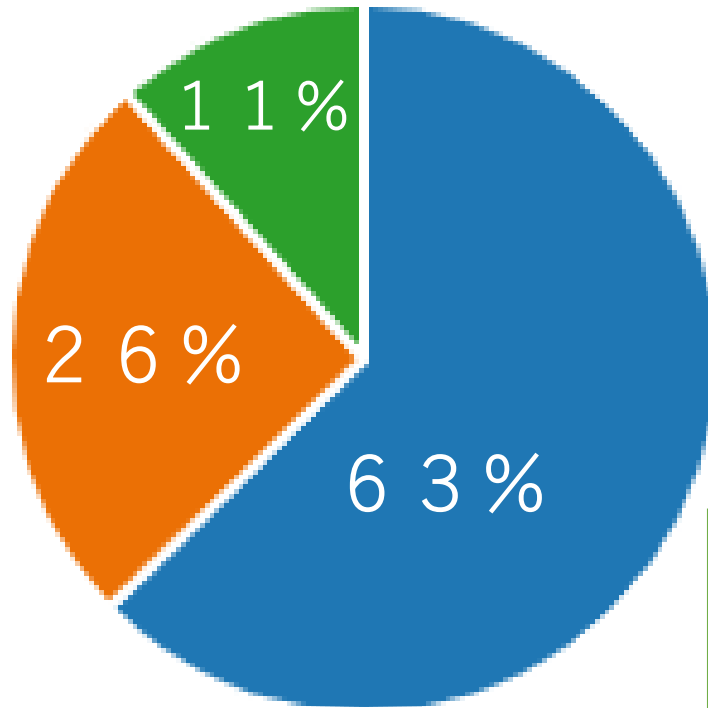


【休日】

休日の活動は、3時間くらいがちょうどいいと答えた生徒が多かった。
休日における地域クラブとしての活動は、3時間以内を基本とすることを決定した。

小学生

質問「近くの中学校が集まって部活動をする事について、どう思いますか」



- よい
- 不安がある
- その他（分からない、等）

「よい」の理由

- ・希望する部活ができる
- ・いろんな人と活動できる
- ・広い場所やいい道具で練習できる

「不安」「その他」の理由

- ・他校の人や先輩後輩と仲良くできるか
- ・移動方法がわからない
- ・移動時間やお金がかかる
- ・練習時間が少なくなりそう
- ・コロナが心配

- アンケートの結果から
- 中学校では、**スポーツや文化芸術活動**に取組みたい。
 - 近くの中学校や地域の指導者と**一緒に活動してお互いに高め合いたい。**
 - 自分の学校以外の友だちや指導者の方と、**仲良くできるか不安。**
 - 合同練習する場所への**移動手段や時間が心配。**



南佐久の中学生が「**やりたいスポーツ・文化芸術活動**」に参加できる環境づくりが必要

学校・教育委員会

4中学校長、南牧村教委情報交換(月1回以上)

- ・各校の実状と課題整理
- ・推進計画の素案、移行パターン



共通理解を深め、同一歩調で推進

「準備会(2, 3ヶ月に1回程度)」

参加者: 6町村教育長、教委、4中学校長

- ・趣旨の共通理解
- ・検討(予算、事務局、推進、等)



各中学校

職員研修（グループワーク、等）

- ・ 地域移行について（学習会）
- ・ 部活動再編案検討



できるためには何をすべきかを検討する

各中学校の部活動運営委員会

参加者：保護者、教員、評議員、
公民館長、外部指導者、
教育委員会、等



中体連の指針

スポーツ庁の動きを受けた中体連の指針

○人数の足りないチームのその大会限りの合同部活動

→特定の地域の学校が集まり、学校単位以外の地域のチームの参加を認める

「臨時的な合同チームとは異なり、将来を見据えた上で、近隣校エリアによる接続可能な基盤として、市町村教育委員会の承認のもとに実施する合同部活動」

 南佐久の4校の拠点化による合同部活が**出場可能**

残された3つ目の**課題解決**

生徒（中学生）

合同練習会の試行

- ・他校の生徒と一緒に
地域の指導者から指導
（卓球、男女バスケ、サッカー、等）

「楽しい」「やりたい」「できる」経験

JR小海線を利用して移動

- ・時刻表に合わせた時間設定
- ・駅に近い会場（中学校、等）

生徒（中学生）



令和4年度の拠点校方式合同部活動

	佐久穂中	小海中	南牧中	川上中	拠点校と参加者数
男女卓球	0	5	3	2	南牧10
サッカー	3	6	0	0	小海 9
男子バスケット	6	1	0	0	佐久穂 7
女子バスケット	9	6	4	0	佐久穂19

全員で45名参加 11月から2月まで、土曜日月2回実施 計8回
計8回は地域クラブとして、それ以外は各校で部活動として

参加者の声

令和4年度の拠点校方式合同部活動



○参加者の声(生徒、保護者、教師、指導者等)

＜生徒＞「他校の生徒と**普段と違う練習**ができて良かった」「**学べる**ことが多く、考えることが増えた」等おおむね好評だった

「普段と違う人との**練習にやりにくさ**がある」と感じた生徒もいた

＜指導者＞「人数が増えることで、**練習方法も幅が出た**。」「やりたいスポーツができるので、**合同練習を続けたい**。」等前向きな意見が多い

「**管理面で負担を感じる**ことがある」という意見も出された

「**専門外の種目に関わる負担が減った**。」

○取組において特に工夫した点

- ・練習時間を電車の時刻に合わせる工夫をして、JRの利用を勧めた。半数の生徒が、JRを利用した。
- ・合同練習会場も、一つの町村に集中しないように**バランス良く配置**したため遠いと感じた生徒は少なかった。

南佐久全体で願いを実現するために

R5 地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業の申請

- 1 **南佐久郡中学校部活動運営委員会**を組織
町村教育長、中学校長、事務局、PTA代表（R6年度～）で構成
- 2 **町村から負担金をいただいて運営**
 - 月2回24回の休日を地域展開
 - 謝金（給与）、旅費、スポーツ保険、
組織維持のために必要な経費、JR小海線運賃補助等
 - 保護者からの負担は無し
- 3 **統括コーディネーター（兼事務局）の設置**
 - 佐久穂町教育委員会内
 - コーディネーターの配置
（謝金・旅費の支払い、連絡調整等）

南佐久の休日における地域展開（地域クラブ） 移行イメージ

令和5年度

町村教委（事務局）が中学校と連携して、指導者や場所の調整

負担金で支援

学校施設

（川上・南牧・小海・佐久穂）

サッカークラブ

指導者

バスケットクラブ

指導者

〇〇クラブ

指導者

〇〇クラブ

指導者

卓球クラブ

指導者

社会体育施設

公民館施設

公民館

休日参加

休日参加

川上中学校

南牧中学校

小海中学校

佐久穂中学校

平日：部活動（顧問・外部指導者・部活動指導員、等）

南佐久の「運営に関する」システム

活動の実態

川上中
南牧中
小海中
佐久穂中

活動内容の決定

【校長会】

- ・4校中学校長
- ・委員会会長
- ・R4南牧村(コ)
- ・コーディネーター

活動内容の承認

【南佐久郡中学校部 活動運営委員会】

- ・各町村教育長
- ・4校中学校長
- ・P T A 代 表
- ・コーディネーター

合同部活動

サッカー・卓球
男バレ・女バレ
陸上・柔道
男バス・女バスA
女バスB

指導
支援

スポーツ
指導員

雇用契約
研修・打合せ

負担金の
請求

給与・旅費

書類

負担金

各町村

統括

コーディネーター

書類

スポーツ庁

ユニフォーム
JR運賃補助

委託金



部活動地域展開 休日活動の様子（～夏期大会）

令和5年度

部活	川上	南牧	小海	佐久穂	休日の練習会場	地域の指導者
野球	単	合同	単	単		
サッカー	0人	拠点 2人	拠点 12人	拠点13人 ※大日向中1人	小海中または佐久穂中	4人 0人
女バレー	単	単	単	単		
男バレー	0人	0人	拠点 1人	拠点 15人	佐久穂中	3人 0人
女バスケ	0人	拠点 7人	拠点 14人	拠点14人 ※大日向中3人	佐久穂中で合同練習会	4人 0人
男バスケ	0人	拠点 5人	拠点 1人	拠点12人 ※大日向中2人	佐久穂中	4人 2人
テニス（男女）	単			単	※合同練習会を行う 場合：佐久穂中	
柔道・剣道	単	団体	団体	団体		
陸上	単	単	団体	団体	※合同練習会を行う 場合：川上中	
卓球	拠点 8人	拠点 4人	拠点 9人	単	小海中 (南牧中央公民館)	4人 1人
水泳	団体	団体		団体		
スケート・スキー	単	単	単			
吹奏楽	単	単	単	単		
美術			単	単		

指導者19人中、
教員が16人

6クラブ】月に2回程度 地域での活動
中体連の大会に合同チームで参加



男子 バスケット

南牧・小海・佐久穂



バスケット部がない、部員数が少ない学校の生徒が
「南佐久チーム」として出場

部活	川上	南牧	小海	佐久穂	休日の練習会場	地域の指導者
野球	単	合同	単	単		
サッカー	0人	拠点 2人	拠点 1人	拠点13人 ※大日向中1人	小海中または佐久穂中	5人 1人
女バレー	単 11人	拠点 4人	拠点 11人	単 8人	小海中学校	4人 1人
男バレー	0人	0人	拠点 1人	拠点 15人	佐久穂中	3人 0人
女バスケ	0人	拠点 7人	拠点 14人	拠点14人 ※大日向中3人	佐久穂中で合同練習会	4人 1人
男バスケ	0人	拠点 5人	拠点 1人	拠点12人 ※大日向中2人	佐久穂中	4人 2人
テニス（男女）	単			単	※合同練習会を行う 場合：佐久穂中	
柔道・剣道	単	団体	団体	団体		
陸上	拠点 9人	拠点 3人	団体	団体	川上中学校	3人 1人
卓球	拠点 8人	拠点 4人	拠点 9人	単	小海中 (南牧中央公民館)	4人 1人
水泳	団体	団体		団体		
スケート・スキー	単	単	単			
吹奏楽	単	単	単	単		
美術			単	単		

指導者27人中、
教員が20人

「8クラブ」拠点化に向けた合同練習会
新人戦に向けた拠点校チーム

教員以外の指導者の増加（コーチ・部活動指導員）

部活ごとに責任者を決め連携

女子バレー

南牧・小海



新チームになり人数が少なくなった学校が、合同で「南佐久チーム」を結成
大会に出場することができました！

南佐久の取り組み

令和 6 年度

8 クラブ 生徒172名 指導者30名 で スタート

令和 6 年度 南佐久の部活動と休日の活動（5月9日現在）

部活	種類	川上中	南牧中	小海中	佐久穂中	大日向中	指導者	
							教員	地域
野球	単（合同）	単	合同	単	単			
サッカー	拠点		3	15	15	1	6	1
女バレー	単・拠点	単	6	14	単		3	1
男バレー	拠点			2	11		3	0
女バスケ	拠点（2）	0	6	7	14	3	3	2
男バスケ	拠点		5	0	17	1	2	2
軟式テニス	単	単			単			
陸上	単・団体	23	7	2	団体		2	1
スケート	単	単	単	単	単			
卓球	拠点・単	4	5	11	単		3	1
柔道・剣道	単・団体	単	団体	団体	団体			
吹奏楽	単	単	単	単	単			
美術	単		単		単			
指導者合計							22	8

令和6年度 南佐久の取り組み 平日部活動の試行

平日 夏の大会前に3回…5/21、5/28、6/4
秋の大会前に2回…9・3、9/10

佐久穂中～川上中30km45分

学校間の調整と移動距離の克服



1 定期テスト等の年暦を揃える

2 日課を5時間授業とする

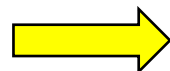
3 移動手段の確保をする
(町村バス、借り上げバスの利用)

平日部活動の試行

佐久穂



サッカー



川上

川上



佐久穂



男子バスケット



佐久穂



南牧

令和6年度

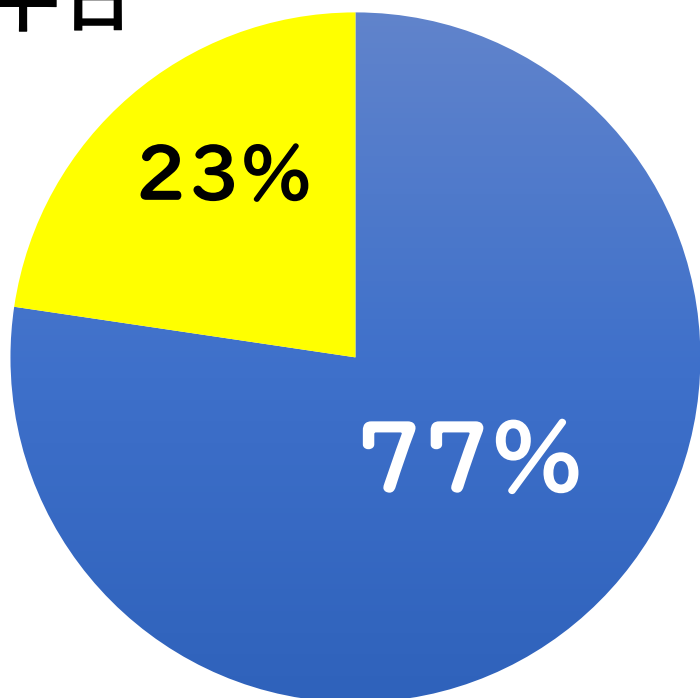
令和 6 年度 南佐久の部活動と休日の活動（11月1日現在）

[illegible]

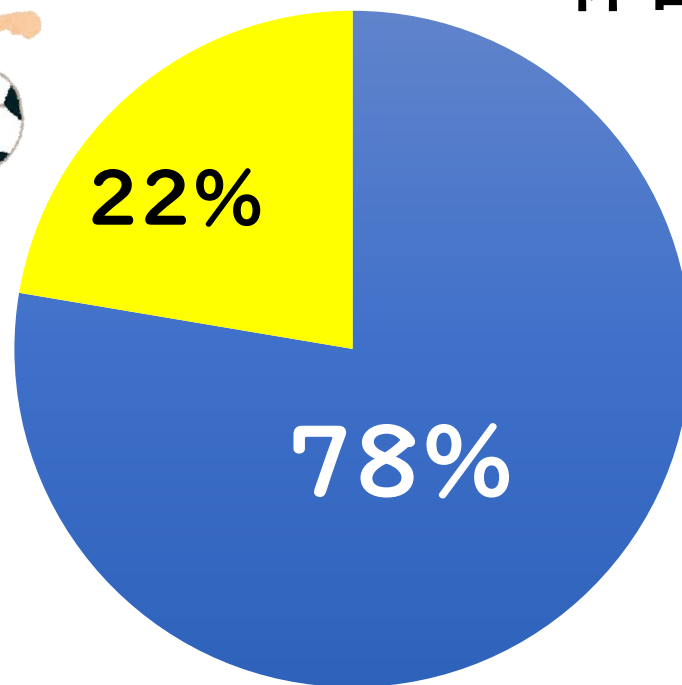
アンケート(令和6年11月)から 【生徒】

平日・休日の合同練習に参加してどうでしたか

平日



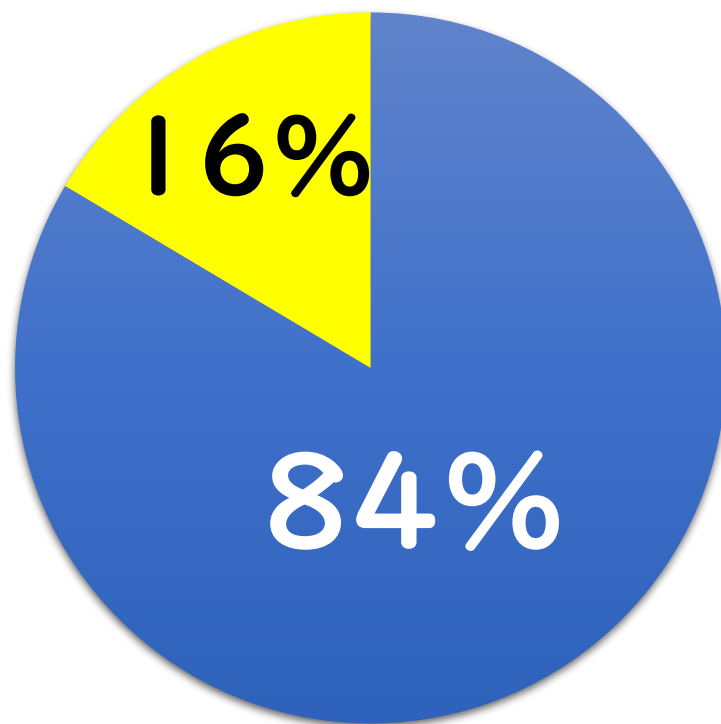
休日



■ よかった ■ 大変だった

アンケート(令和6年11月)から 【生徒】

大会に南佐久中学校合同チームとして参加したことはどうでしたか



■ よかった ■ 大変だった



南佐久の取り組み

令和7年度

令和7年度 南佐久の部活動と休日の活動（7月11日現在）

部活	種類	川上中	南牧中	小海中	佐久穂中	大日向中	指導者	
							教員	地域
野球	単（合同）	単23	合同2	合同8	単22			
サッカー	拠点		3	10	15	2	6	2
女バレー	単・拠点	単15	6	10	単27		3	2
男バレー	拠点	0	0	2	13		3	1
女バスケ	拠点（2）	0	6	10	16	1	4	2
男バスケ	拠点	0	8	0	14	1	4	2
軟式テニス	単	単8			単31			
陸上	単・団体	15	4	2	団体		3	1
スケート	単	単7	単6	単5	単			
卓球	拠点・単	4	5	5	単19		3	3
柔道・剣道	拠点	2	0	1	1		0	6
吹奏楽	単	単4	単13	単11	単14			
美術	単		単4	単14	単32			
参加者総数：3年（60人）、2年（52人）、1年（41人）					指導者合計		26	19

サッカークラブ（南佐久チーム）

- ・南牧中、小海中、佐久穂中、大日向中の合同チーム
- ・部員数：28名
- ・指導者数：8名
（内、地域の指導者2名）
- ・主な練習会場：小海中

東信地区大会 劇的な優勝！



<試合経過>

VS上田二中・東御東部中合同チーム

引き分け以上で優勝の試合

0-1で折り返した後半 残り3分で1-1に追いついたものの
すぐに勝ち越され1-2に

しかし、最後のワンプレーで同点に追いつき、優勝となった

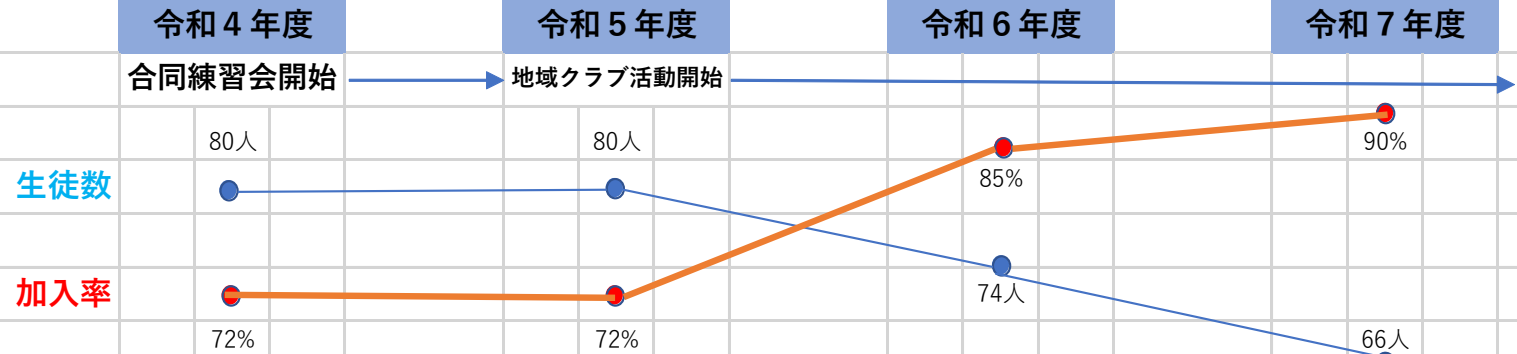
☆ 身体を張ってマイボールにした14番は、大日向中の子

☆ 最後にシュートを決めた11番は、小海中の子



部活動加入率の増加

南牧中学校の場合



※生徒数は減少しているが、選択可能種目数が増えたためか、部活動加入率が高くなっている。

選択可能種目数

7
種
目

野球
女子バレーボール
女子バスケットボール
陸上競技
卓球
スケート
吹奏楽

12
種
目

野球
女子バレーボール
女子バスケットボール
陸上競技
卓球
スケート
吹奏楽
サッカー
男子バスケットボール
剣道
スキー
男子バレーボール

12
種
目

野球
女子バレーボール
女子バスケットボール
陸上競技
卓球
スケート
吹奏楽
サッカー
男子バスケットボール
剣道
スキー
男子バレーボール

12
種
目

野球
女子バレーボール
女子バスケットボール
陸上競技
卓球
スケート
吹奏楽
サッカー
男子バスケットボール
剣道
スキー
男子バレーボール

部活動の現状と課題



文化芸術活動でも
南佐久合同で

南佐久郡の特徴

- ① 保護者負担なし(令和6年度まで)
- ② 移動手段としてのJR利用



赤字路線の活性化と
休日における生徒の移
動手段の両立を目指し
JR小海線の利用を勧め
補助金を出している

令和5年度:約35万円

令和6年度:約64万円

<保護者負担>

令和7年度から、保険加入のための800円を保護者から負担していただいている。

令和9年度からは、受益者負担として月謝をお願いすることになっている。

南佐久郡中学校部活動運営委員会 部活動地域展開のロードマップ

年度	2022年度（R4）	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）
南佐久郡6町村	南牧村を中心に 合同部活動の試行	南佐久郡中学校部活動運営委員会によるクラブ活動の実施				
		コーディネーターの設置（令和5年度から）				
	前半：アンケート実施					
	11月～2月まで 拠点校方式による 合同部活動の実施	休日における部活動地域移行の実施				
		休日の活動回数：24回		休日の活動回数：40回		保護者負担の 開始
	実施種目 卓球 サッカー 男子バスケット 女子バスケット	夏季大会：6部活 卓球 サッカー 男子バスケット 女子バスケットA 女子バスケットB 男子バレーボール	・単独では大会に参加できないチームスポーツを中心に、 地域展開を進める。 ・各校が単独でできる種目については、従来通りの部活動 として続ける。			
			平日における部活動地域展開の試行 R8年度までは、大会前の5日間で試行			休日における 部活動 地域展開の 完全実施
	参加校 川上中学校 南牧中学校 小海中学校 佐久穂中学校	新人戦から8部活に 女子バレーボール 陸上が 加わる	柔道が加わり9部活			
	川上村 南牧村 小海町 南相木村 北相木村 佐久穂町					

南佐久の取り組み（今後の課題①）

1 指導者について

- ・地域指導者の確保
- ・教員の異動による交代への不安

2 予算について

- ・町村による分担金（負担金）の継続・増額
- ・国からの補助の継続・増額
- ・受益者負担（令和9年度から 2,000円/月を予定）

3 部員数の増減や対象となる部活動について

- ・年度ごとの部員の増減、構成等への素早い対応
- ・文化部（吹奏楽部等）への対応

4 平日の合同部活動について

- ・試行と同様の形では実施できない。方法の検討をする。

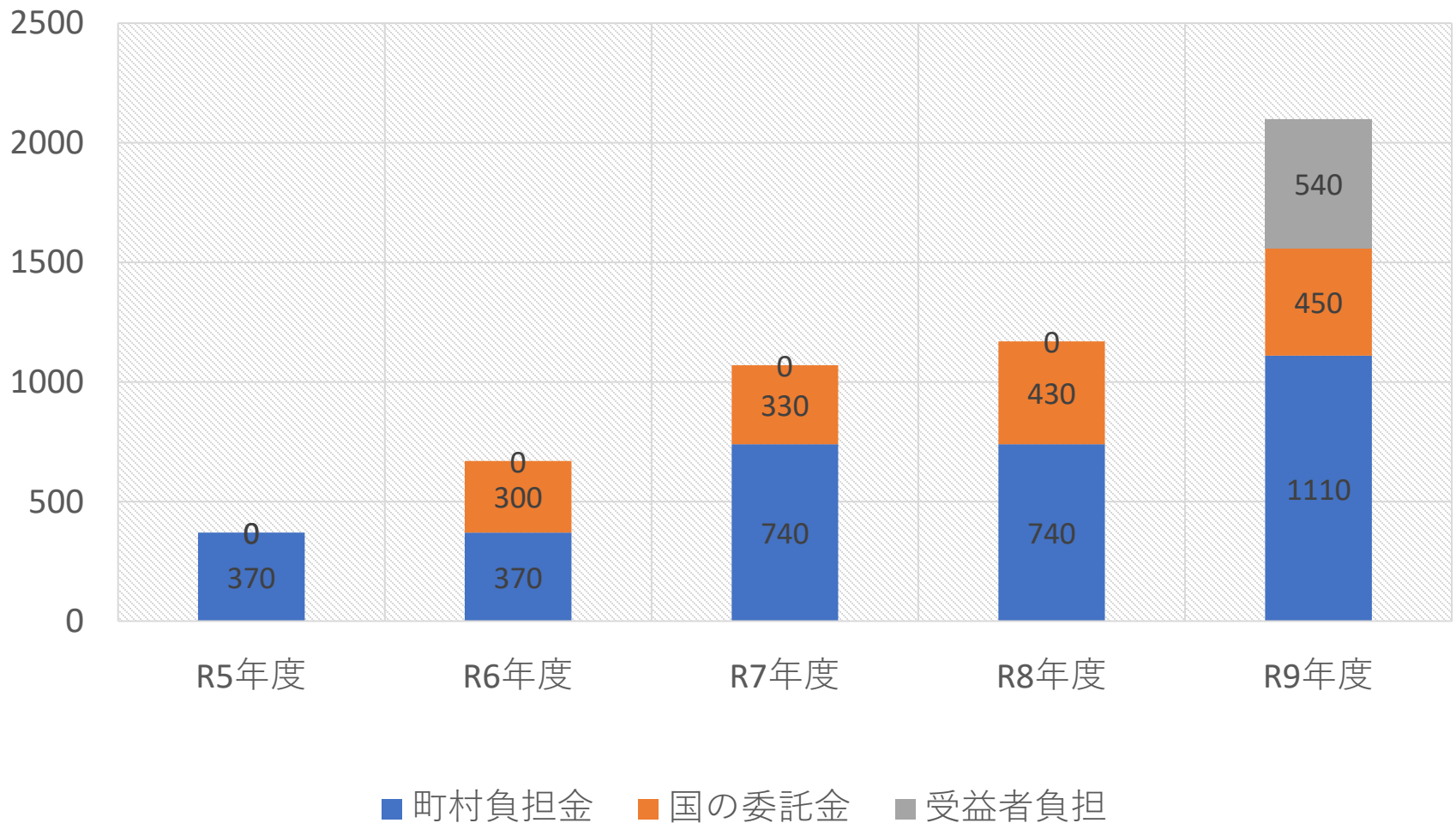
5 連絡及び集金システムの導入について

- ・令和9年度からの月謝集金に間に合うように、連絡及び集金ができるシステムの導入を検討

南佐久の取り組み（予算についての課題）

年度別予算額（一部予想を含む）

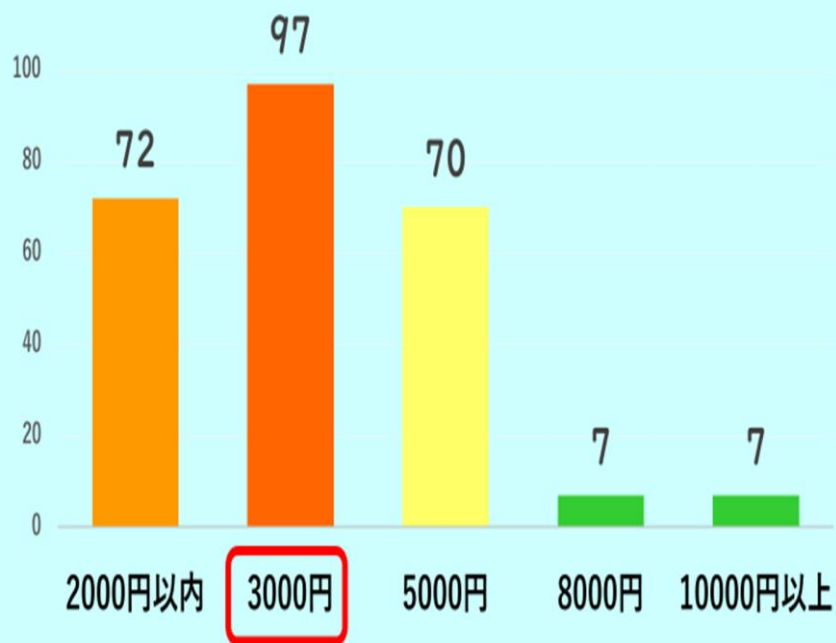
単位：万円



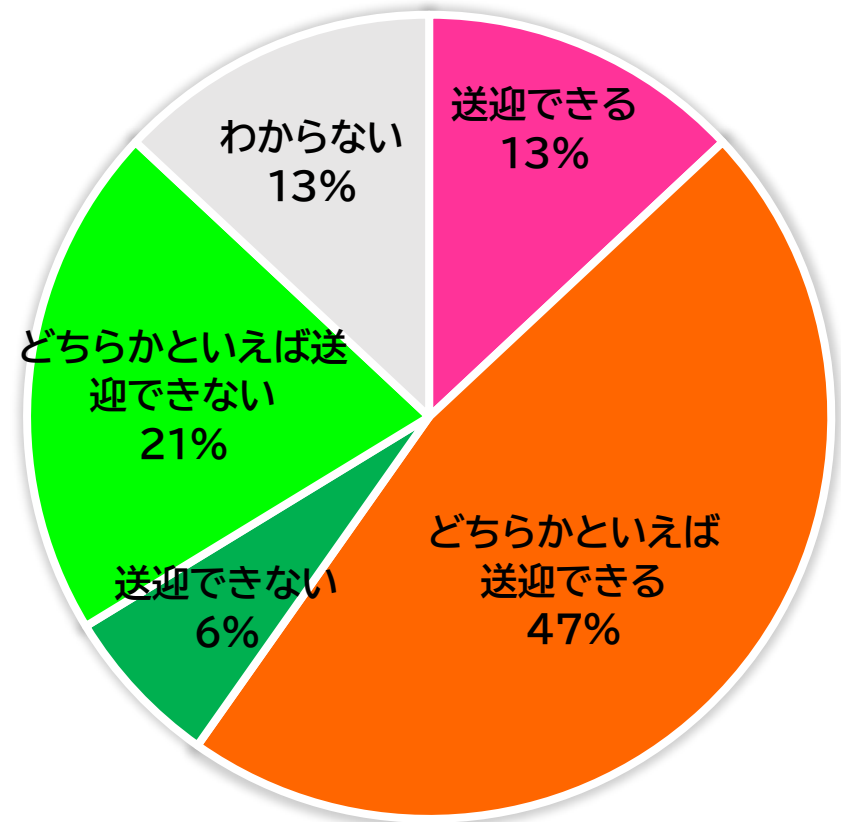
南佐久の取り組み今後の課題（②）

保護者の方々の、金銭的・時間的負担について

質問7 許容できる月謝の金額（最もあてはまるもの）



送迎について



持続可能な活動とするため、保護者負担を重くしない。

「小さな自治体が連携して取り組む部活動 地域展開について」 長野県南佐久郡



令和7年9月6日

埼玉県熊谷市